

オフィス・自宅からリモートで学べる **Online Class**



「クレジットリスク分析」は、リスク管理、与信審査、債券・クレジット投資、企業財務、IR、格付会社対応、投資銀行業務等に携わるビジネス・プロフェッショナルが信用格付けの視点で企業分析を徹底的に学べる分析研修講座です

2021年1月-3月期の開催講座

事業会社クレジットリスク分析(2日間)

初級者・新任者向けの基礎コースと、数年以上の実務経験を有する方向けの応用コース

基礎コース	1月20日(水) - 21日(木)	9:30 - 17:00	定員8名	終了
	2月17日(水) - 18日(木)	9:30 - 17:00	定員8名	
	3月3日(水) - 4日(木)	9:30 - 17:00	定員8名	
応用コース	2月24日(水) - 25日(木)	9:30 - 17:00	定員6名	

業界・テーマ別クレジットリスク分析(1日)

一般的な事業会社の分析アプローチでは対応できない業界・テーマを掘り下げる分析研修

※原則として金融機関・企業からの受託研修での提供となりますが、(*)が付された講座については2月から3月に公開講座としても開催します。受託開催また公開講座の受講希望についてはお問い合わせください

クレジット分析における ESG 評価 (*2月10日 9:30-17:00 公開講座としても開催決定)
 地銀信用力の現状分析と分析手法 (*3月に公開講座としても開催予定)
 米国ハイ・イールド(債券、Bank loan)分析の基本
 総合商社の分析手法
 リース会社の分析手法
 不動産業界の分析手法
 M&A が格付け・企業クレジットに与える影響と分析手法



新型コロナウイルス感染拡大防止に関する弊社の取り組み

- 新型コロナウイルスへの感染を予防する観点から、「クレジットリスク分析」の全講座について会場での開催を当面の間休止し、オフィス・自宅から受講できる Online Class でリモート開催します
- 画面の前で一方向的に聞くだけの講座ではありません。講師および受講者間の双方向コミュニケーションを重視した少人数制クラスですので、会場受講と同様に気軽に質問や発言が可能です

「事業会社クレジットリスク分析」講座の概要

受講料	200,000 円(税込 220,000 円) (基礎コース・応用コース共通)
日程	2日間とも 9:30-17:00 (基礎コース・応用コース共通) (昼休みと数回の休憩時間を取ります)
会場	Zoom を利用した Online Class で開催します
申込み方法	メール (info@e3-analytics.com)、電話 (03-6915-0284) もしくは弊社ホームページのお問い合わせページ (https://e3-analytics.com/inquiry.html) から弊社に直接お申込み下さい
定員	基礎コース: 8 名 (開催日程追加により定員を変更しています)、応用コース: 6 名
最少催行人数	原則として 2 名 (講座、開催日時によって異なる場合があります)
講師	小林修 イー・スリー・アナリティクス(株)代表取締役
教材	弊社の独自教材を使用します。教材一式は開催前日までにご指定場所にお届けし、画面上でも共有します
必要なもの	Zoom による Online Class を受講できる端末とインターネット環境 (スマートフォン、タブレットも利用可能ですが、パソコンの利用を強く推奨します)、筆記用具、ノート

※開催情報は 2021 年 1 月 7 日時点のものです。受講申込み状況、講師都合等のやむを得ない事情により日程が変更される場合がありますのでご了承ください。
 最新の講座開催情報は弊社ホームページに掲載します (https://e3-analytics.com/lib/pdf/CorpCreditRisk_J_2021)。

イー・スリー・アナリティクスの分析研修講座

金融業界で与信審査、投資銀行業務、企業・業界の調査分析、投資運用(債券・クレジット等)などに携わる方や、企業等で財務・資金調達、IR、格付会社対応等を担当される実務家(ビジネス・プロフェッショナル)向けの分析研修講座です。業務に必要な金融知識を確実に身につけ、企業分析・クレジット分析のスキルを鍛えます。

豊富な経験と実績を持つ講師

格付会社と投資銀行でアナリスト、クレジットオフィサー、格付・財務戦略アドバイザーとして豊富な企業分析経験を持つ講師

質の高い独自研修教材

日本経済新聞社グループの(株)QUICK が提供する QuickFACTSET^(Workstation) 等の金融情報サービスを活用した独自制作教材

知識の定着と分析スキルを確実に高めるバランスの良いインタラクティブなカリキュラム

講義とディスカッション、ケース・スタディをバランスよく組み合わせ、研修効果を最大限に引き出すインタラクティブなプログラム

受講者の評価と満足度の高さ

2016 年開始以来、全受講者から 5 段階で「とてもよかった(最上位)」もしくは「よかった(上位 2 番目)」と安定した高評価

最新かつ客観的な知見

格付会社等のグローバルな分析手法を熟知し、幅広い調査・研究活動と実務から得た最新の知見を活かした偏りのない研修内容

イー・スリー・アナリティクスの分析研修講座では、講義やケース・スタディの中で様々な企業の具体的な事例を取り上げますが、企業分析・企業クレジットリスク分析の研修を目的としたものであり、個別銘柄への投資判断の推奨等をおこなうものではありません。

事業会社クレジットリスク分析 (2 日間)

クレジットリスク分析に必要な知識を習得し分析手法を徹底的にマスターする研修講座です。事業・財務両面の定性・定量分析と分析フレームワーク全体をカバーすると同時に、金融のプロでも誤解が多い格付けとその利用方法について適切な理解を身につけます。

経験と知識のレベルに合わせて「基礎コース」と「応用コース」から選択できます。「基礎コース」の大まかな構成は講義が約 75%、演習・ケースが約 25%ですが、「応用コース」は演習・ケースを 40%~45%と高めめに設定し、より実践的で難易度の高い内容となります。

主な対象

- ☆ 金融機関で審査・リスク管理、クレジット分析、投資銀行業務、債券運用等を担当されている方
- ☆ 事業会社・総合商社等で財務・経理、IR、リスク管理、経営企画、格付会社対応等を担当されている方

基礎コース: 上記業務の新任者~経験 2 年程度までの方、

応用コース: 原則として上記業務の経験 2 年程度以上の方、または弊社の「基礎コース」、もしくは類似のクレジットリスク分析研修(Moody's Analytics、S&P Global 等主催の格付分析研修)の受講経験をお持ちの方

* 本講座は、企業のクレジットリスク(信用リスク)分析に必要な知識を幅広く習得・確認し分析スキルを身につけていただくことを目的とします。主要格付会社の格付手法を含め様々な分析手法をご紹介します、それらの特徴や有効性、課題についても比較検討しバランスよく学びますが、特定の格付会社等の手法に焦点を当てて推奨するものではありません。



受講料*(基礎コース、応用コース共通):

200,000 円(税別)

* 原則として、受講申込書の提出と事前の受講料のご入金確認を以て正式にご登録完了となります

** 2021 年 1 月より受講料(税別)を改定し、基礎コース、応用コースとも受講料を同額にしました。また下記の割引料金を導入しています。また大学等の教育関係者(大学院生・学生、教員・研究者等)向け割引も別途ご用意していますので詳細はお問合せ下さい。

1. **継続受講割引:** 「基礎コース」を受講済みの方が「応用コース」を受講される場合 10%割引
2. **複数受講者割引:** 1 月~12 月(または 4 月~翌年 3 月)の 1 年間に同一ご請求先から複数の方が「事業会社クレジットリスク分析」講座にお申込みされる場合、二人目以降 10%割引

標準的な内容とスケジュール:

基礎コース (9:30~17:00)		応用コース (9:30~17:00)	
	1 日目	2 日目	
午前	スケジュール等の説明 1. クレジットリスクの基本(講義) ・クレジットリスクの定義、Equity vs. Credit、基本アプローチ 2. 信用格付けの基礎(講義) ・格付けと格付会社、格付定義と符号、デフォルト・スタディ、格付け決定プロセス、分析手法等	4. 財務面のリスク分析(講義・ディスカッション) ・基本的な視点 ・財務方針・リスク選好度、キャッシュフロー・創出力・資金使途、負債・資本構成、流動性等 ・事例研究 (受講者のレベルに応じて財務分析、業績・財務プロジェクト等の演習を加える場合があります)	午前 スケジュール等の説明 1. クレジットリスク(講義) ・クレジット分析のアプローチ確認 2. 格付けと格付会社(講義) ・上級者が誤解する点、格付変更可能性判断、近年の事業会社格付け分析手法の変化等 3. 事業リスク分析(講義) ・定性判断要素の定量化等
午後	3. 事業面のリスク分析(講義、ディスカッション) ・基本的な視点、・カントリー・リスク、産業リスク・特性、競争力、収益力、戦略・マネジメント等 ・事例研究	6. オーバーレイ(その他の分析要素)(講義) 親会社と子会社・グループ、ソプリンリスク、経営陣とガバナンス、ESG 等 7. ケース・スタディ 8. 研修講座全体のまとめ	午後 4. 財務リスク分析(講義、ディスカッション) ・財務方針・規律・リスク選好度の見極め等 5. 財務分析、業績・財務の予測手法(プロジェクト作成)(演習)
			6. オーバーレイ(その他の分析要素)(講義) ・持株会社と構造的劣後、企業グループ/複合事業会社/金融子会社を持つ事業会社の分析等 7. 格付け判断の背景と格付会社の意図を読み取る(演習) 8. M&A とクレジットリスク(講義、ケース・スタディ) ・M&A の影響をどう評価するか 9. 信用力の総合判断(ケース・スタディ) ・成長戦略と財務規律のバランスをどのように評価するか 10. 研修講座全体のまとめ

※ 研修講座内容の継続的な見直しや受講者属性(ご経験や知識のレベル)、また進行上のやむを得ない事情等により内容とその順番や予定時間が一部変更される場合があります
 ※ 受講者のご経験・知識レベルを把握して最適な講座内容を提供するため、受講登録時に事前プロフィール・アンケートをお願いしていますので、ご協力をお願いいたします

業界・テーマ別クレジットリスク分析（1日）

特定の業界やテーマ別に専門的な理解を深く掘り下げる講座です。原則として金融機関・企業からの受託研修での提供となりますが、ご要望にお応えして公開講座として開催する場合があります。受託研修または公開講座の受講希望についてはご相談ください

クレジット分析における ESG 評価：公開講座としても開催決定！ 2月10日(水) 9:30-17:00

想定する受講者層	与信審査、調査、投資運用等を担当される方、企業の ESG 対応を担当される方、等
想定する難易度	初級～中級(実務経験 1-2 年程度以上の方に最適) *格付けと事業会社のクレジット分析に関する基礎的な理解は必須となります
講座の狙い	企業等のクレジット分析において、ESG 評価をどのように織り込むのか、分析の視点と評価手法を学びます。数社の事例も取り上げながら、ESG 分析の現状と課題についても考察します
主な内容とスケジュール	午前 ESG 評価の全体像、主要格付会社は ESG をどのように織り込んでいるか、ESG 評価の視点と評価手法、等 午後 事例研究、ESG 分析の現状と課題、等

地銀信用力の現状分析と分析手法：3月に公開講座としても開催予定

想定する受講者層	国内地方銀行を対象に与信審査、調査、投資運用等を担当される方、企業の財務・資金調達を担当される方、等
想定する難易度	初級～中級(実務経験 1-2 年程度以上の方に最適) *格付けと事業会社のクレジット分析に関する基礎的な理解は必須となります
講座の狙い	収益力の低下が指摘される国内地方銀行。格付会社は地方銀行の信用力をどのように分析しているのか、その手法と格付判断の背景を整理しながら、収益力・基礎体力の現状を分析し、今後の見通しを考察します
主な内容とスケジュール	午前 地方銀行の現状分析、動向と課題し、等 午後 地方銀行業界の分析手法(分析手法比較等)と格付判断の背景要因等

米国ハイ・イールド(債券、バンク・ローン)分析の基本：

想定する受講者層	米国ハイ・イールド企業等を対象に債券・バンクローン・CLO への投資運用を担当される方、与信審査、リスク管理等担当される方、等
想定する難易度	初級～中級(実務経験 1-2 年程度以上の方に最適) *格付けと事業会社のクレジット分析に関する基礎的な理解は必須となります
講座の狙い	複雑で難解と言われる米国ハイ・イールド格付けの背景と理由を明確に理解し、回収率の基本的な考え方も整理します。分析やリスク管理で知っておくべき社債とローン(シ・ローン)の違いと特徴を、特にローンについては具体的な事例研究を交えインタラクティブに学びます
主な内容とスケジュール	午前 ハイ・イールドの格付けはなぜ複雑で難解か(ハイ・イールド格付けの特徴、回収率概論、事例研究、等) 午後 債券とバンク・ローン(主な違い、バンク・ローンのリスク上の特徴、バンク・ローン分析の視点、レバレッジド・ローン、事例研究、等)

総合商社の分析手法：

想定する受講者層	総合商社を対象に与信審査、リスク管理、投資運用等を担当される方、総合商社で投資家・格付会社対応を担当される方、等
想定する難易度	初級(実務経験 1-2 年程度までの方に最適) *新任の方も受講可能ですが格付けとクレジット分析に関する基礎的理解は必須です
講座の狙い	ユニークな事業モデルを持つ日本の総合商社を分析する手法はいまだに確立されているとは言えない状況です。主要格付会社の分析手法の有効性や課題も比較しながら、総合商社の分析ポイントと適切な財務指標を考察していきます
主な内容とスケジュール	午前 総合商社の事業モデル・事業面・財務面の特徴を理解する、破たん・債務不履行事例の研究、等 午後 格付会社の総合商社分析手法研究、信用力評価のポイントと視点、事業の分散(多角化)をどう織り込むか、等

リース会社の分析手法：

想定する受講者層	与信審査、リスク管理、投資運用、投資銀行業務を担当される方(リース会社を担当される方)、等
想定する難易度	初級(実務経験 1-2 年程度までの方に最適) *新任の方も受講可能(格付けとクレジット分析に関する基礎的理解は必須)
講座の狙い	リース会社のクレジット分析手法の基本を学びます
主な内容とスケジュール	午前 リース業界の動向と全体像、主要格付会社のリース会社分析手法、等、 午後 ケース・スタディ、等

不動産業界の分析手法：

想定する受講者層	与信審査、リスク管理、投資運用、投資銀行業務を担当される方(不動産業界を担当される方)、等
想定する難易度	初級(実務経験 1-2 年程度までの方に最適) *新任の方も受講可能(格付けとクレジット分析に関する基礎的理解は必須)
講座の狙い	不動産関連企業のクレジット分析手法の基本を学びます
主な内容とスケジュール	午前 不動産業界の動向と全体像、分析手法の特色、等 午後 ケース・スタディ、様々な指標の使い方・読み取り方、等

M&A と格付け・企業クレジット分析：

想定する受講者層	与信審査、リスク管理、投資運用、投資銀行業務を担当される方、企業で企画・財務・資金調達・IR・格付対応等を担当される方、等
想定する難易度	初級～中級(実務経験 1-2 年程度までの方に最適) *新任の方も受講可能(格付けとクレジット分析に関する基礎的理解は必須)
講座の狙い	M&A は企業の格付けや信用リスクにどのように影響するのか、国内・海外の様々な事例を多面的に取り上げて学びます。解説とディスカッション、ケース・スタディを通じて、クレジット分析で重要な成長戦略と財務規律についても考察します
主な内容とスケジュール	午前 企業の成長戦略と財務規律、M&A とクレジットリスク、格付会社は M&A をどのように評価するか、等 午後 ケース・スタディ(大型 M&A が企業に与える事業面と財務面の影響、信用力判断のカギになる要素、等)

受講料*(業界・テーマ別クレジットリスク分析全コース共通)： 100,000 円(税別)

* 原則として、受講申込書の提出と事前の受講料のご入金確認を以て正式にご登録完了となります

** 下記の割引料金体系を導入しています。また大学等の教育関係者(大学院生・学生、教員・研究者等)向け割引もご用意しています。

1. **継続受講割引**：「事業会社クレジットリスク分析」を受講された方が業界・テーマ別クレジットリスク分析を受講される場合 10%割引
2. **複数受講者割引**：同一ご請求先から複数の方が同一「業界・テーマ別クレジットリスク分析」を受講される場合、二人目以降 10%割引

カスタマイズ(受託)研修のご案内

目的や対象、ニーズに合わせて金融機関、企業向けにカスタマイズした研修を提供しています。お気軽にご相談ください。

カスタマイズ研修(受託)

初心者から実務家、経営層向けまで幅広い層を対象とした研修メニューをご用意しています

- (例)
- 初級者向け基礎研修**： 財務会計基礎研修(財務諸表入門、財務分析基礎)
 - 実務家向け分析研修**： 「事業会社クレジットリスク分析」、「業界・テーマ別クレジットリスク分析」に準じた研修
 - 経営層向け専門研修**： 経営幹部に必要な財務知識と経営分析研修等

標準開催人数は 10 名程度(4 名～20 名に対応可能)です。原則として会場(会議室・研修施設等)をご用意いただきますが当面は Online Class(リモート)により開催します。

実績： 国内大手銀行リスク管理部門、国内大手証券投資銀行部門、国内大手生命保険投資運用部門、事業会社各社(役員・経営幹部、階層別、財務・経理部門、IR 部門、営業部門、等)

実績と受講者プロフィール

多様な受講者層：実務家向け分析研修講座受講者(2016年2月～直近)の所属先業種は、証券・投資銀行、銀行、保険等の金融業界が半数を占めますが、総合商社を含む事業会社からの受講者も45%を占めます。職種別には審査部等のクレジットリスク管理部門が4割近くを占めますが、財務、IR等に携わる事業会社の方々も多く受講しています

受講者からのコメント：

- 基本を幅広く確認できるのでプロフェッショナルだけでなく、新人研修などにもとても良い。(ファンド・マネージャー、事業会社・財務)
- 特に基礎知識の確認に役立ち大変有意義だった。応用コースで高度な分析手法を学びたい。(総合商社・IR)
- 他の参加者と様々な分野の知見を共有できて議論が興味深かった。Interactiveで集中しやすい。(外資系投資銀行・審査)
- 内容の濃い2日間でした。業務や研究で積極的に活用したい。(地銀・審査、大学・教員)
- 単に財務数値から判断するだけでなく数字の裏側の定性的要因の分析に奥深さと面白さを感じた。(事業会社・財務)
- グループ別のディスカッションに加えて講義も双方向で、他業界・他社の人の意見や経験にもつづいた話が聞けた。昼食会で他の参加者とも親しくなれて、他社の信用リスク管理についても話が聞けた。(生命保険・投資運用)
- クレジット分析の基本がしっかり理解できた。充実した内容で、あっという間の2日間だった。(事業会社・顧客管理)

イー・スリー・アナリティクスについて

イー・スリー・アナリティクスは、クレジットリスクの分析・管理のノウハウと知見をベースに以下の領域で専門性の高いサービスを提供しています

教育研修(クレジットリスク分析、個人向け他)

金融業界をはじめとする実務家(ビジネス・プロフェッショナル)向けに、主にクレジットリスクの視点で各種企業分析研修講座を開催するほか、大手金融機関や事業会社から専門研修を受託。2018年から個人の初心者向け財務・会計基礎講座の開催を開始、同時に企業向け財務・会計基礎講座の受託も開始

アドバイザー&コンサルティング(格付け・財務・戦略アドバイザー他)

金融機関向け信用リスク管理関連コンサルティング、事業会社向け格付会社対応・財務戦略の助言サービスを提供。また、投資評価指標・金融モデル等の開発と受託、海外スタートアップ企業に対する対日進出助言・支援等

調査・研究

M&Aに関連した企業・業界調査のほか、企業動向・信用リスク・金融市場や社会経済情勢に関する独自の調査・研究と受託、および講演、執筆活動等

講師

代表取締役の小林がメイン講師をつとめるほか、弊社の特別主任研究員等(格付け・クレジット分析(製造業・非製造業、エネルギー、ソブリン、金融・保険等の各業界や、金融市場、金融工学のエキスパート)が、テーマと内容に応じて講師陣に加わります。



イー・スリー・アナリティクス株式会社 代表取締役 小林修

日系証券(現みずほ証券)で株式調査、ベンチャー企業投資の調査分析・投資審査、投資事業組合運営等に携わった後、ゴールドマン・サックスでシニア・クレジット・オフィサーとして信用リスク管理を担当し、日本と韓国で事業会社、保険会社等のアドバイザー業務にも携わる。その後格付業界に転じ、Fitch Ratingsで短期間統括部長をつとめた後スタンダード&プアーズ(S&P Global)に移り11年間事業会社格付けを統括。海外を含む百数十社の格付委員会議長をつとめ、格付規準の開発・改定にも携わる。S&P「クレジット・リスク・トレーニング」で10年間教材開発とメイン講師も担当。2015年から現職。2018年からNPOフェア・レーティング理事を兼任。大学・大学院等での講義・講演実績多数。慶應義塾大学卒業。ジョージタウン大学大学院修了(MBA)。

お申込み・お問い合わせ

お申込みの流れは以下の通りです。

Email: info@e3-analytics.com TEL: 03-6915-0284(月～金:9:00～18:00)

ご質問・ご相談	■ 内容等の詳細に関するご質問、受講コース選択に関するご相談を承ります(Eメール: info@e3-analytics.com 電話: 03-6915-0284)
お申し込み	■ 「コース名」「お名前」、「ご所属先情報」、「電話番号」、「メールアドレス」を添えてメールでお申し込みください(info@e3-analytics.com) ■ 弊社ホームページ内にある「お問い合わせ」ページからも送信できます(https://e3-analytics.com/inquiry.html) ■ 通常、開催日の一週間前頃に締め切りますので、お申し込みはお早めをお願いいたします
ご登録完了	■ 弊社からメールまたは郵送で、①受講申込書兼受講者プロフィール・アンケート、②受講料お支払手続きのご案内(ご請求書)をお送りします ■ 原則として、受講申込書(兼受講者プロフィール・アンケート)の提出と、事前の受講料のご入金確認を以って正式に登録完了となります
受講前のご連絡	■ 開催1週間前をめどに、弊社からメールまたは郵送で当日のスケジュールと事前課題等を含む詳細なご案内をお送りします
受講当日	■ 研修教材一式は前日までにご指定場所にお届けします(事前課題がある場合は課題資料を事前にお送りします)

※個人情報の取り扱い

お預かりした個人情報は弊社の個人情報保護方針に沿って厳正に管理いたします。弊社のクレジットリスク分析講座(受託、個人向け基礎講座を除く)は株式会社QUICKの協力で開催いたしますので、お預かりした個人情報を両社が共同で管理・利用する場合があります。予めご了承ください。両社の個人情報保護方針は以下のリンクからご覧いただけます。<https://e3-analytics.com/privacy-policy.html> (e3 Analytics)、<http://corporate.quick.co.jp/other/policy/> (QUICK)

※実務家(ビジネス・プロフェッショナル)向け分析研修のキャンセルについて

登録完了後のお客都合によるキャンセルは、原則として開催3営業日前までに電話またはメールでご連絡いただければ振込手数料を差し引いた上で受講料全額返金致します。この期限を過ぎてキャンセル又は当日欠席された場合は原則としてご返金致しかねますが、次回以降の開催回に振替えることが可能です。登録済みのご本人が参加できない場合は、代理の方の参加も可能ですが、受講要件を満たす方に限りましては必ず事前にご相談ください。弊社の事情により実施できなかった場合(最少催行人数に満たない場合や講師の疾病等)は全額返還いたします。

最新の開催情報を確実に届けてもらえるようメールアドレスをご登録ください

弊社では不定期にNewsletterを配信するほか、各種分析研修・セミナー・基礎講座の開催情報をメールで随時お届けしています。最新の開催情報を確実にお手元にお届けできるようメールアドレスをご登録ください。弊社HPの「お問い合わせ」(<https://e3-analytics.com/inquiry.html>)ページから、件名に「配信希望」とご入力の上お名前とメールアドレスをご登録ください。お預かりした情報は弊社の個人情報保護方針に沿って厳正に管理いたします。弊社の個人情報保護方針は弊社HP上でご確認ください。日本語: <https://e3-analytics.com/privacy-policy.html> 英語: <https://e3-analytics.com/en/privacy-policy.html>

イー・スリー・アナリティクス株式会社(e3 Analytics, Inc.)

本社: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番1号 岸本ビルディング6階

電話: 03-6915-0284(代表)

メール: info@e3-analytics.com

ホームページ: <https://e3-analytics.com/>



e3 Analytics
excellence · experience · expertise